

津山洋学資料館



つやま探訪

No.001
イマガワ
2018.6月

津山洋学資料館は、旧出雲往来に沿い国重要伝統的建造物群保存地区にも選定されている城東地区に位置します。ホールと展示室の平面は五角形を基本として、それを巧みに組み合わせた形になっています。これは、日本で初めて本格的な西洋の植物学を紹介した津山藩医・宇田川榕菴にちなんで植物をモチーフとし、また、「津山洋学五峰」（宇田川玄随・宇田川玄真・宇田川榕菴・箕作阮甫・箕作秋坪）をイメージさせるものです。建築面積は1,224㎡。(社)日本建築家協会中国支部の平成22年度中国建築大賞を受賞しています。

本館の設計は象設計集団の建築家・富田玲子氏によるものです。富田氏は東京大学で丹下健三氏、また箕作阮甫の玄孫で早稲田大学大学院で建築学を教授した吉阪隆正氏にも師事し、これまで名護市庁舎（沖縄県）・由布院美術館（大分県）・九谷焼美術館（石川県）などを手がけました。

つやま ご当地グルメ



【ホルモンうどん】

今や日本中どこにでもあるご当地グルメ。ここ岡山県を代表するご当地グルメのひとつが「津山ホルモンうどん」です。あのB-1グランプリでの受賞経歴もあり、今では県外からも多くの方がホルモンうどんを求めて津山市に来るほどです。6月を迎え、ドライブ日和になってまいりました。イマガワ工場見学にいらっしゃいませんか？（ご当地グルメも楽しめます♪）